



神経内視鏡には、硬性鏡と軟性鏡があります。
いろいろな疾患、場所により、使い分けます。

神経内視鏡手術は、最近目覚ましい進歩があります。
しかし、小さな穴からの手術であるため、熟練を要します。

神経内視鏡手術の適応は、、、、、、、

- 1.脳出血
- 2.水頭症(閉塞性)
- 3.脳腫瘍などの組織を調べる手術(脳室に面してる時)
- 4.下垂体部腫瘍(内視鏡単独の場合と顕微鏡手術併用の場合あり)
- 5.脳動脈瘤手術の際の観察するための手段

などが、あります。

参考サイトは こちら、、、、

<http://www.shikoku.ne.jp/~tobrains/therapy/endoscope.html>

<http://www.h.u-tokyo.ac.jp/neurosurg/rinsho/endoscope.htm>

当院で最も多い神経内視鏡手術である脳出血治療例を提示します。



術前



術後

高血圧性脳出血 高血圧による脳内出血です。
発症当日、
頭蓋骨に小さな穴を1個あけて、硬性神経内視鏡にて、血腫を除去しました。
この方は、余病も多く、局所麻酔で手術しました。
リハビリ後、後遺症無く、退院しました。



術前



術後

高血圧性脳(視床)出血 高血圧による脳内出血です。
発症当日、
頭蓋骨に小さな穴を1個あけて、硬性神経内視鏡と硬性内視鏡にて、
血腫を除去しました。
この方は、局所麻酔で手術しました。
右麻痺は残存しましたが、早期リハビリができ、転院しました。



術前



術後

**高血圧性脳(小脳)出血 高血圧による脳内出血です。
最も、緊急性が必要とされる脳出血です。
発症当日、全身麻酔下にて、
頭蓋骨に小さな穴を1個あけて、硬性神経内視鏡にて、血腫を除去しました。
リハビリ後、後遺症無く、退院しました。**